

「加工のプロ」が生み出す 多種多様な切削部品



新庄金属工業株式会社

**24時間365日
あらゆる材質を切削し続ける**

昭和37年、ガス器具の切削部品を中心とする切削加工メーカーとして、下新庄の地に設立した新庄金属工業。平成元年に、それまでの大量生産路線から難削材の複合加工の分野にシフトし、現在は、半導体装置部品、携帯電話の基地局の部品、レーザー加工のためのパーツ、ハイブリッドカーのヒートシンク、自動車用の温度センサー等、実に幅広い分野で加工生産を行っている。

事業拠点は、大阪と北海道。大阪は、多品種少量生産への対応に力を入れている。取引先の数約70社。一方北海道は、自動車関連の部品を中心に、大量生産を行い、こちらは約20社と取引している。

24時間365日稼働という高い生産力と、材質、サイズ、形状を問わずあらゆるものを切削加工できる技術力が同社の強み。扱う材質は、真鍮、アルミ、銅、ステンレス、鉄、プラスチックと実に多彩。それらを、

髪の毛くらいの細さから人の頭くらいの大きさまで、発注先が本当に必要とする加工を実現している。

また、多額の投資を行って最新の検査機を導入、数百万個に1個の不良品をも無くしていく努力でクオリティを保持。ほかにも、出荷前に環境検査を行い、検査証を付けて出荷するといった配慮も行う。この信頼性の高さが、同社製品をブランド化させている所以である。

大胆な設備投資で 技能を高める

同社では毎年、約5千万円は、設備投資のための予算を設けている。特に、加工機械については、同社から機器メーカーに詳細なオーダーをしたり、中には同社自身が特許を取ったものもあるほど、その仕様にはこだわっている。

そして、技能と設備は両輪である、との考えから、機械の性能をフルに活かすことのできる人材を育てることに重きを置く。先輩技術者が後輩技術者に自然に指導することができるよう、個人の成果とチームの上げた成果を合算する形で、成果報酬の査定を実施。全体の技術力を引き上げる工夫を行っている。

社員のやる気と信頼で 新分野へ挑戦

また、会社が利益を上げる目的は、従業員とその家族の人生を輝かせることだという考えから、毎年の利益を都度、社員に還元。定年制度も

ない。

「社員のやる気と信頼を得るには、目的ビジョンを共有し、情報を共有し、成果を共有することが大切。社員に会社の損益をオープンにすることで、モチベーションもコスト意識も、協力体制も向上します」と益山利二社長。

そして、その向上する社員全体のモチベーションと技術をフルに活かして、今後、ハイブリッドカーや電気自動車はもちろん、航空機部品や先端医療部品を視野に、さらなる企業展開を描いている。

主な事業内容

電装部品・産業機器部品・各種の外装部品等の精密切削加工・コネクタ関連・通信関連の半導体部品製作等



益山利二さん
代表取締役社長

新庄金属工業株式会社

住所／〒544-0006
大阪府大阪市生野区中川東2-14-20
創業／昭和37年8月
設立／昭和60年10月
資本金／3,000万円
従業員／35名（平成21年1月現在）
TEL／06-6752-9131
FAX／06-6752-9151

ISO 9001
ISO 14001

関西
19

<http://www.shinjohokushin.jp/>